

情報通信審議会 情報通信技術分科会
I P ネットワーク設備委員会（第90回）

1 日時

令和7年9月29日（月） 14時00分～14時32分

2 場所

Web開催

3 出席者（敬称略）

（1）構成員

相田 仁（東京大学）

朝枝 仁（国立研究開発法人情報通信研究機構）

岩田 秀行（一般社団法人情報通信技術委員会）

石井 義則（一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会）

内田 真人（早稲田大学）

田中 絵麻（明治大学）

宮田 純子（東京科学大学）

森川 博之（東京大学）

矢入 郁子（上智大学）

（2）オブザーバ

一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人テレコムサービス協会、

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会、

一般社団法人日本CATV技術協会、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、

一般財団法人電気通信端末機器審査協会、

株式会社NTTドコモ、ソフトバンク株式会社、楽天モバイル株式会社

（3）総務省

杵浦 維勝（電気通信技術システム課長）、

柴田 輝之（電気通信技術システム課企画官）、

川津原 光裕（電気通信技術システム課課長補佐）、

由本 聖（電気通信技術システム課課長補佐）

4 議事

（１）端末機器の技術基準等への適合性に係るセキュリティ基準の見直しについて事務局から資料90－1、90－2に基づき説明が行われた。説明後の質疑応答は以下のとおり。

【田中委員】 資料90－2のスライド3について、アクセス制御の際に使用するID・パスワードの設定機能に関し、デフォルトパスワードを変更させるという形でセキュリティを強化していくという方針、この非常に重要なポイントを見直しに盛り込んでいただいたことは適切であると思う。これまでの課題が、デフォルトパスワードの脆弱性というものを減らしていくことによって大きく改善するのではないかということが、これまでのデータからも分かり、報告内容の趣旨に賛同する。

【石井委員】 資料90－2のスライド5について、技適を適用する対象機器の範囲ということで、委員や外部有識者から意見をいただいた上で、対象機器をこれまでと同様、通信回線に直接接続される端末としたことは妥当な判断であったのではないかなと思う。一方で、間接的に接続される機器については継続的に状況を見ていくと、これが非常にやはり重要だと思っており、セキュリティに対するリスクであるとか、あるいは端末機器の使われ方というのは非常に多様化しているので、この点をしっかりと注視していく体制が今後重要ではないかと思うため、しっかりとやっていけるようお願いしたい。

【相田主査】 いただいた意見に対して、事務局からコメントはあるか。

【柴田電気通信技術システム課企画官】 スライド3ページについて、改善すべきポイントがまとめられるような審議をしていただき、感謝。また、5ページについても、間接的に接続する機器について引き続き注視していくことが大事だという点について、セキュリティ対策、端末の使われ方の多様化、そのような状況も踏まえて、今回の直接接続する機器への対策の強化によってどのような効果が上がっていくのかしっかりと見ていくということで、事務局もそのように努めてまいりたい。

【相田主査】 いただいた御意見は、いずれも御賛同の御意見であったので、本報告案について、情報通信技術分科会に報告する前に、パブリックコメントの手続きを取ることしたいが、よろしいか。

（反対意見なし）

反対はないようなので、そのような形で進めていただきたい。

(2) 全体を通じた意見として、田中委員から「海外では現在、パスワードに長い桁数(16桁)、及び複数の文字種(英字の大文字、小文字、数字、記号を組み合わせる)を求められることが増えており、パスワードのセキュリティ強化というものは世界的な潮流の中でも重要だと感じている。」とのコメントがあった。これに対して、相田主査より「本報告案でも、機器ごとに固有の番号であれば、それほど長いものでなくても、容易に推測できないものであれば可ということになっているので、長くすることがいいのか、機器固有、一台一台違うものにするほうがいいのか、という点については、メーカーの方で考えていただく、あるいは御意見いただくということがいいのかもしれない。」との発言があった。